

ざつがみ 雑紙はリサイクルに

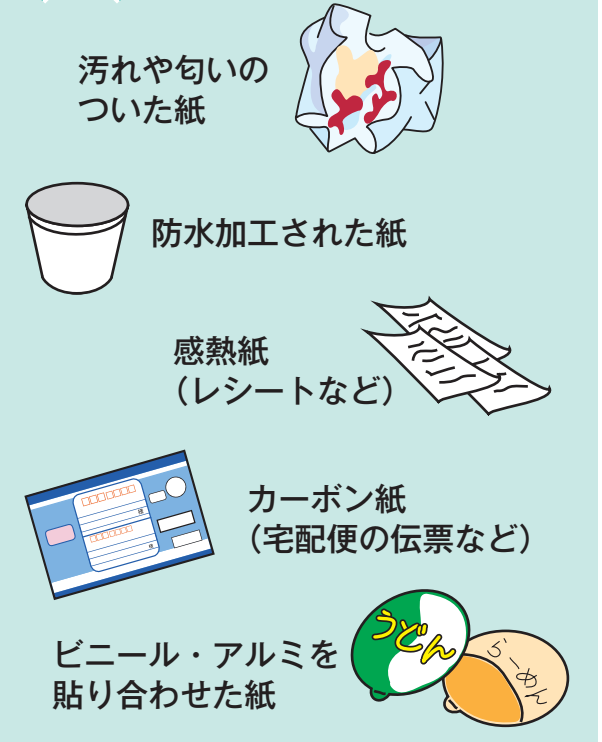
～ STOP! ごみ箱に捨てないで～

リサイクルできる雑紙



お菓子の空き箱や包装紙、封筒などはリサイクル可能な「雑紙」です。燃やせるごみとして捨てずに、資源としてリサイクルにご協力ください。

リサイクルできない雑紙



雑誌・本などと一緒に
ひもで十字に縛り、
資源物収集日や集団回収のときに
出してください

※名刺やハガキなどの小さい紙は、雑誌などに挟んでからひもで縛るか、紙袋や封筒にまとめてください

“燃やせるごみ”として
出してください

環境政策課 (市役所2階)
☎88-8104

歴史の散歩道 (147)

勝山三町芸 その1

勝山左義長は四百年以上の歴史があり、元禄時代に小笠原家が高須から勝山へ入封以来、郡町(上本町)、本町(上下袋田)、寺町(後町)の三町が本格的に城下町として整備・発展するとともに、左義長(どんど)も盛んになっていった。

勝山左義長は、神明神社や毘沙門、光明院、明宝院等の境内を勝山左義長はやし所として行われていたが、火災防止のためにこのはやし所は下町に降ろされ、御神体(松飾り)は三町に建てられ、左義長二日目の夜

に河原近くの空き地に移され、どんど焼きとしてはやされた。

やがて、左義長見物の中で行われた勝山三町芸は、元禄時代後期になって庶民の芸能文化として代々継承されてきた。三町の芸達者な若者達が、左義長の日(太鼓櫓(太鼓張りの舞台)を各町内の大庄屋宅前に組み、その上で披露した素人歌舞伎や手踊り芸を三町芸と呼んだのである。

藩主は大庄屋の二階座敷からご覧になり、庶民は路上からの見物を許された。これが三町芸の始まりである。

左義長は年に一度、武家と町人が無礼講として交流した場であったと思われ、辻行燈にしても然りである。三国祭や敦賀まつりの山車に飾られる武者人形や曳山の上で演ぜられる子供歌舞伎も、江戸文化の流れである。

文化財保護委員 丸屋仁志

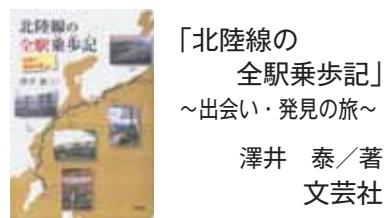


寿曾我兄弟対面の段 (上袋田区、大正11年)

おすすめ図書

勝山市立図書館 ☎88-6000
ホームページ <http://tosyokan.city.katsuyama.fukui.jp/>

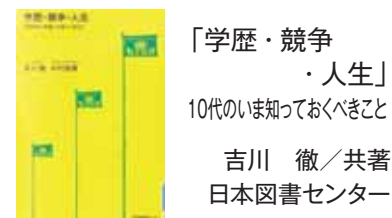
一般図書



「北陸線の全駅乗歩記」
～出会い・発見の旅～
澤井 泰/著
文芸社

中部地方の日本海沿岸を南北に縦貫する鉄道路線・北陸本線。その全78駅および関連路線の駅に降り、駅舎と周辺を探索。駅と線路のある町と地方の歴史、地理、文化、自然を調べつくした記録をまとめる。

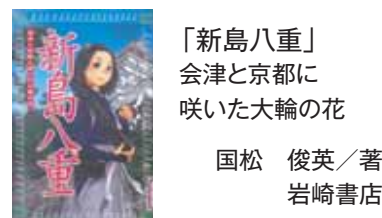
中高生図書



「学歴・競争・人生」
10代のいま知っておくべきこと
吉川 徹/共著
日本図書センター

これだけ教育が広く普及してしまった社会で暮らしていく以上、学歴と競争の問題は、どうしても人生につきまとう。不透明な将来を生きる若い世代へ、学校では絶対に教えてくれない、学歴と競争という人生のルールを紹介する。

こども図書



「新島八重」
会津と京都に咲いた大輪の花
国松 俊英/著
岩崎書店

幕末に会津で生まれ、戊辰戦争の時には髪を切って戦に参加し、自らスパンサー銃をもって戦った新島八重。夫となった新島襄から「ハンサムウーマン」とよばれた八重の一生を描く。

人口の動き

	12月末現在	自然動態			社会動態			1月末現在	月間増減
		出生	死亡	計	転入	転出	計		
男	12,254人	3	20	-17	10	12	-2	12,235人	-19人
女	13,411人	8	10	-2	24	26	-2	13,407人	-4人
合計	25,665人	11	30	-19	34	38	-4	25,642人	-23人
世帯数	8,137世帯							8,137世帯	0世帯

2月の納税

固定資産税 ▶ 第4期
納期限 ▶ 2月28日(木) 口座振替 ▶ 2月26日(火)

交通事故発生状況

※高齢者=65歳以上

件数内訳	平成25年1月末	前年比
総件数	60件	+2件
人身事故(うち高齢者)	4件(1)	±0件(-1)
死者(うち高齢者)	0人(0)	±0人(±0)
傷者	4人	±0人
物損事故	56件	+2件